

平等寺だより



同事

住職 丸子 孝法

年頭にあたり皆様のご清福をご祈念申し上げます。

丁度一年前になります
が、計算機をとりだして、
ご先祖さまの数をかぞえて
みました。私の親が二人い
る、その親には四人の親が
いる。その親は八人いて
倍々に増えていきます。や
つとのことで三十二代前ま
でさかのぼりました。

三十二代というと、約九
〇〇年です。平安時代の後
期で、さほど古い時代とい
うことではありませんが、
そのご先祖さまの総数には
自分でもびっくりしまし
た。なんと「八十五億八千九
百九十三万四千五百九十
人」となります。六十五億

の世界総人口を超えてしま
うのです。

韓国や北朝鮮、中国のみ
ならず、世界中の人々がど
こかで親戚です。

お釈迦様の教えに「同事」
があります。これは水があ
つまつて海となるように、
すべてのものはへだてな
く、垣根をつくらずに生き
ていきなさいという教えで
す。

この教えが世界中の人々
を幸せにする根本の教えと
なります。

今年もよろしくお願いい
たします。



作務の日

毎年恒例の作務の日に、
今年は七十名を超える有
志の方々が平等寺の隅々
まで掃除して下さいまし
た。(上記写真)

また、一心講や日高産業の
方達も、ご奉仕で一生懸命
に掃除して下さいました。
ありがとうございました。

親子坐禅会

昨年の七月より、平等寺
境内において親子坐禅会
を行っています。約十五分
間の坐禅のあとに四十分
間の遊びの時間をもうけ
ています。夏はお滝に入っ
たり、秋は写仏をしたりお
芋でお菓子を作ったり、寒
くなると室内でゲームを
したりしています。お寺の
中でお坊さんと触れ合い
ながら様々な経験ができ
るように考えています。保
護者同伴の場合は年齢制
限ありませんが、小学生以
上なら子供だけでも参加

子供たちも坐ってます！



可能です。小さな時分から
静かに自分と向き合うこ
とで得られる感性は少な
くありません。また遊びを
通じて、もの大切さや他
人との接し方を学べる良
い機会になると思います。
催しによっては仕込み
が必要なものもあるので
予約のうえお越し下さい。
檀信徒でないお友達もお
誘いいただいて結構です。

毎週第三日曜日

午後一時から二時まで

完全予約 参加費無料

☎090-1803-4473
mi-mrk@zeweb.ne.jp

※方が一のお怪我や事故の際は
当方では責任を負いかねます。
事前にはスポーツ保険への加入を
お勧めします。

布教つれづれ

四月八日

明日香の飛鳥寺の仏生会。二年ごしで約束をはたし日本一古い飛鳥大仏のご尊前での説法。尊きご法縁に感謝。「飛鳥仏 おろがみまつり 法を説く」

九月八日

長野県の特派布教の折、中野市から須坂市に移動の最中、小布施町の「竹風堂」に立寄る。竹風堂は栗菓子で有名。特に「方寸」は枯淡な味で、「人のこころは心の臓一寸に宿る」という意味合いをもつ銘菓



中の銘菓。つくり始めてから十億数枚にもなろうという。

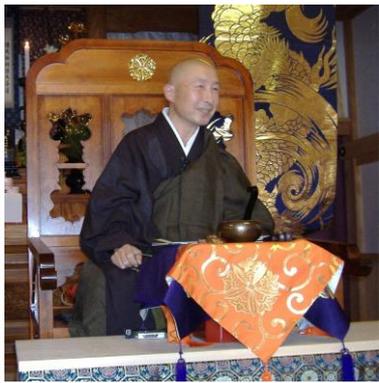
この竹風堂の社長、竹村猛氏は二十八年前、托鉢を

教えて下さいと突然私を尋ねてきた。そのわけをたずねると、社長というレッテルをはがして本当の自分をみつめなおしてみたという。求道の人であった。

二十八年ぶりに再会して、なつかしいやらありがたいやら。竹風堂の「日本のあかり博物館」のご案内を頂き、その上社長さん自らの運転で、須坂の宿泊地までお送りいただいた。

十一月六日～十一日

山口県宇部市光善寺様(住職 松原徹心師)でりっぱな本堂が完成し、報恩授戒会が修行された。戒師は大本山永平寺副貫首福山諦法老師。小納説戒師の大役を拝命し、有難い法縁でありました。



梅花へようこそ

辻本年子

七月四日に平等寺に於いて行われた講習会に二教区と三教区の梅花講の方々八十名程参集されました。本堂で三宝御和讃と一佛両祖様の御詠歌が奉詠された時、言葉では云い表わしがたい感動を覚えました。後日、方丈様から



本堂の音響の良さは秀でたものだ伺いました。今年新しい人が二名加わってうれしい限りですが、それでもまだ十名足らずです。一人でも多く梅花の仲間に入って頂いて、檀家の方々の唱和も頂いて、今一度あの感動を味わいたいものだと願っております。

三輪の市開かれる

三輪の市が、今年も五月三日と十一月三日に開かれます。境内にプロからアマチュアまで六十もの店舗が並びます。ぜひ一度おいでください。



緑蔭禅の集い

毎年七月二十二日～二十三日の二日間、奈良県曹洞宗青年会が「子ども緑蔭禅の集い」を青少年教化の一環として企画しています。昨年は吉野川中流の川沿いにあるバンガローカルディア・興大寺様をお借りして開催することができ、四十二名の子ども達に参加しました。今年も永平寺に行きます。お坊さんと一緒に一泊二日でお経や坐禅を体験してみませんか。小学三年生から中学生まで六月末まで募集しています。



在家得度式のすすめ

『仏弟子となること
必ず三帰に依る』

お釈迦さまの時代、三帰すなわち南無帰依仏・南無帰依法・南無帰依僧と唱えることがお釈迦さまの弟子であり、仏教徒であることのおかしでありました。ですから、インドでは今でも「ブツダーン、サラナム、ガツチャーミー。ダンマーン、サラナム、ガツチャーミー」と唱えることが何より尊く大切にされています。

南無はインド語のナー



ム、「身も心もおまかせします」という意味で、漢訳されて帰依となりましたから、「南無」も「帰依」も同じ内容です。

この帰依の心をおこし仏の戒法をうけて仏陀の弟子になることを得度とか受戒といいますが、日本人はお葬式の時になつてやつと戒名をいただきますが、本当は、生きています、それも若いうちにお得度を受け、自ら仏陀の弟子であるという自覚をもって生きることが、人生最高のよろこびであります。

お釈迦さまから達磨大師、道元禪師とつたわり、私が九十五代ですから、壇信徒の皆さまは九十六代目のお釈迦さまのお弟子さまであります。お得度をうけられた方には、その証明の血脈と在家得度の絡子を授与します。

壇信徒の皆さま、在家得度の方はあらかじめお寺の方にお申込み下さい。日取

り等を打ち合わせておつとめいたします。

総持寺参拝

毎年恒例の本山研修会に辻本さんと岡本さんが参加されました。今年も永平寺へ行きます。皆様も本山での修行は如何ですか。

行事写真

四月第一日曜日 大護摩会



八月一日 最勝会



皆様には子供さんやお孫さんもおつれだつて多数ご参詣ください。

研修道場報告

空手道MAC奈良支部が、がんばりました。白蓮会館の全日本大会で山路要さんがベスト8。準々決勝で白蓮世界チャンピオンの北島悠悠選手と打ち合いました。サンテレビ、サムライTVで放映されます。四月の花祭り、七月三十日のおんばら祭、九月の万葉祭りで演武会を行いました。直接打撃制は、痛いし厳しいものですが、『相手の痛みが分かる人間』になるよう幼児から大人まで努力しております。



すごいっ！空手道MAC奈良支部さんたちによる「生・真剣り」にはたただただビックリ…☆

見て見て！「昇降台」は、その名の通り大和川の上にはステーションが組まれているんだよ！

山路要さん(左)と北島悠悠選手A奈良県の月刊誌「ばーぶる」に万葉祭が掲載されましたBおんばら祭では五十三名で演武しましたC
090-71119-8767
<http://www.karatado-mac.com/>

平等寺カイロ施術院

痛みは身体からのサインです。私たちの誰もが「良い状態」であろうとする強い治癒力を持っています。ところが自分では気づかないような日常の「くせ」がその邪魔をして痛み痺れが生まれてきます。平等寺カイロプラクテ

「痛み」の「原因」を「理解」し「解消」し「予防」するための場所です。様々な情報が氾濫する今だから、身体の「ほん」との声を聞きにおこしください。



万葉まつりに出店しました

■詳細はインターネット→Yahoo検索→「平等寺カイロ」で「ご覧下さい」
■完全予約制 祝日・夜間も営業 出張もしています
090-1803-4473

mi-mrk@web.ne.jp
院長 丸子 道仁

護持会だより

岡本 勝



私事で恐縮でございますが、父母を失ってから半世紀を越えておりますが、私が世帯を持って以来、平等寺の一檀家として先代の秋正方丈様の時代からずっと毎月のお参りをさせて頂きお教えを賜わっております。

思い起こしますと、私共が奈良市内の片隅に住んでいた時でも、秋正方丈が暑い日照りの夏の真っ最中、日傘を差され、法衣を砂埃りで真っ白にされて、奈良駅から歩いて毎月のお参りをさせて頂いておりました。お参りの後には、亡くなった父母のこと等を話し、聞かせて下さるのが楽しみでした。

そしてある日、凜と張った目もとの青年をお連れになり、「この子が来てくれたので、私もこれから安心

です」と、やさしい笑顔で話される秋正前方丈の横で、手を合わせておられた孝法現方丈様のことも、三十数年前の古い記憶に残っております。

皆様ご承知の通り、孝法方丈は「托鉢をしてでも本堂を再建して欲しい」というご遺言を残して逝去された先代方丈の願いを一身に受け止められて、托鉢からスタートされ、二十数年にわたるご努力により、本堂を始めとする数々の堂塔を再建されました。

こうした孝法方丈の力と熱意の下に檀信徒等との繋がりを強め、お互いの親睦を深めるために、平成十一年八月に三輪山平等寺護持会が発足いたしました。その護持会も今年で八年目を迎えることとなります。

孝法方丈におかれては、全国あちこちの団体等からの講話の要請を受けられ、お忙しいことと伺っておりますが、副住職の孝仁様も立派に成長され、寺務に力を注いでおられるのを壇信徒の一人として嬉

しく拝見させて頂いておられます。

長い人生、悲喜こもごもであります。自分にできることと言え、先祖に合掌し、感謝することだけではありませんが、毎日の生活の中に小さな幸せを探しながら、これからの生きていきたいと願っております。

最後になりましたが、皆様のご健勝と三輪山平等寺護持会の益々の発展をお祈り申し上げます。合掌

お知らせ



護持会で本堂北側の手摺りA池の橋Cを塗り替え、赤門南側の手摺りBをステンレスに替えました。

年間行事予定

- 【二月】一〜三日 修正会
八日 十二時 昼食
十三時 初護摩会
- 【二月】三日 十時 星祭会
十五日 七時 涅槃会
- 【三月】二十一日 十四時 彼岸会
- 【四月】一日 十時 大護摩会
(花祭り降誕会)
- 【ちこおねり】募集
- 【五月】三日 三輪の市
中旬 本山研修会
中旬 作務の日
下旬 子供坐禅の集い
- 【八月】一日 九時半 最勝会
二十三日 十三時 地藏会
- 【九月】二十三日 十四時 彼岸会
- 【十月】下旬 梅花大会
- 【十一月】三日 三輪の市
- 【十二月】一〜八日 朝六時
撰心会並びに成道会
上旬 歳末托鉢行
二十一日 十四時 終護摩会
三十一日 除夜の鐘

月間行事予定

- 一・十五日 六時 祝祷朝課
- 四〜二十九日 月仏参
- 十八日 十三時 梅花講
- 二十四日 十四時 水子供養
- 二十八日 十四時 護摩会
- (一月・十二月は右記参照)
- 日曜日 六時半 坐禅会
- 第三日 曜日 十三時 親子坐禅

みー子が行く①

二月四日、十八歳でお寺の犬「まる」が亡くなりました。皆様にかわいながら、私達をずっと見守ってくれていました。有難う。今、お寺にはミーコとフワワという名の猫がいます。

三輪山裏

子どもの頃、本堂から聞こえる木魚の音に目が覚めても、なかなか本堂までは行けなかった。今、方丈さんと道仁と近所のおばさんと一緒に朝六時に鐘をつき朝のお参りをしていく。人は変わる。世の中に変わらないものはないが、お釈迦様の坐禅は裏切らない。まずは履物を揃えます。

編集子 孝仁記 合掌

